



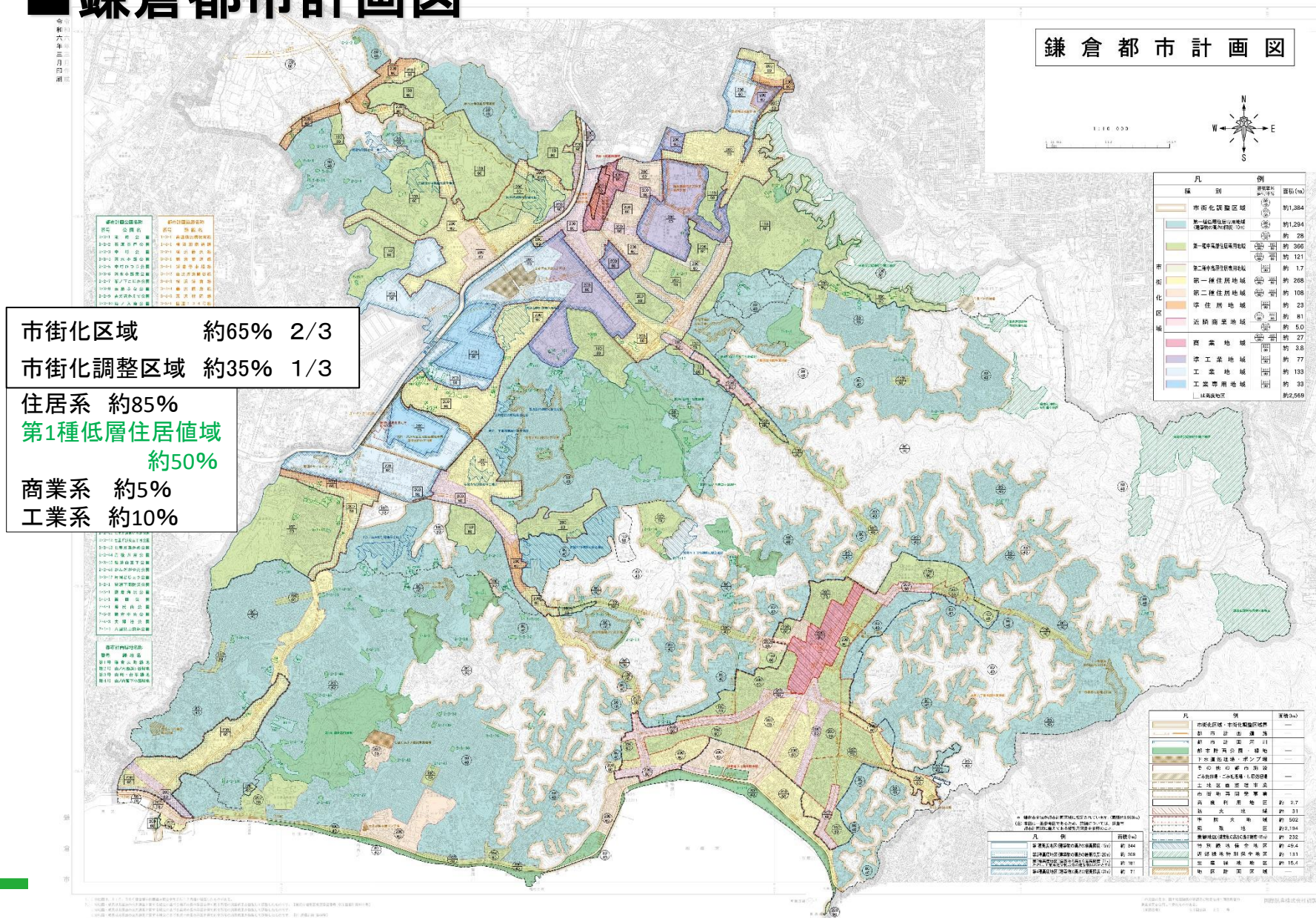
PLATEAUを中心とした
まちづくりDXの取り組みについて
まちづくりDX全国会議

鎌倉市
まちづくり計画部
都市計画課
祖父江 和彦

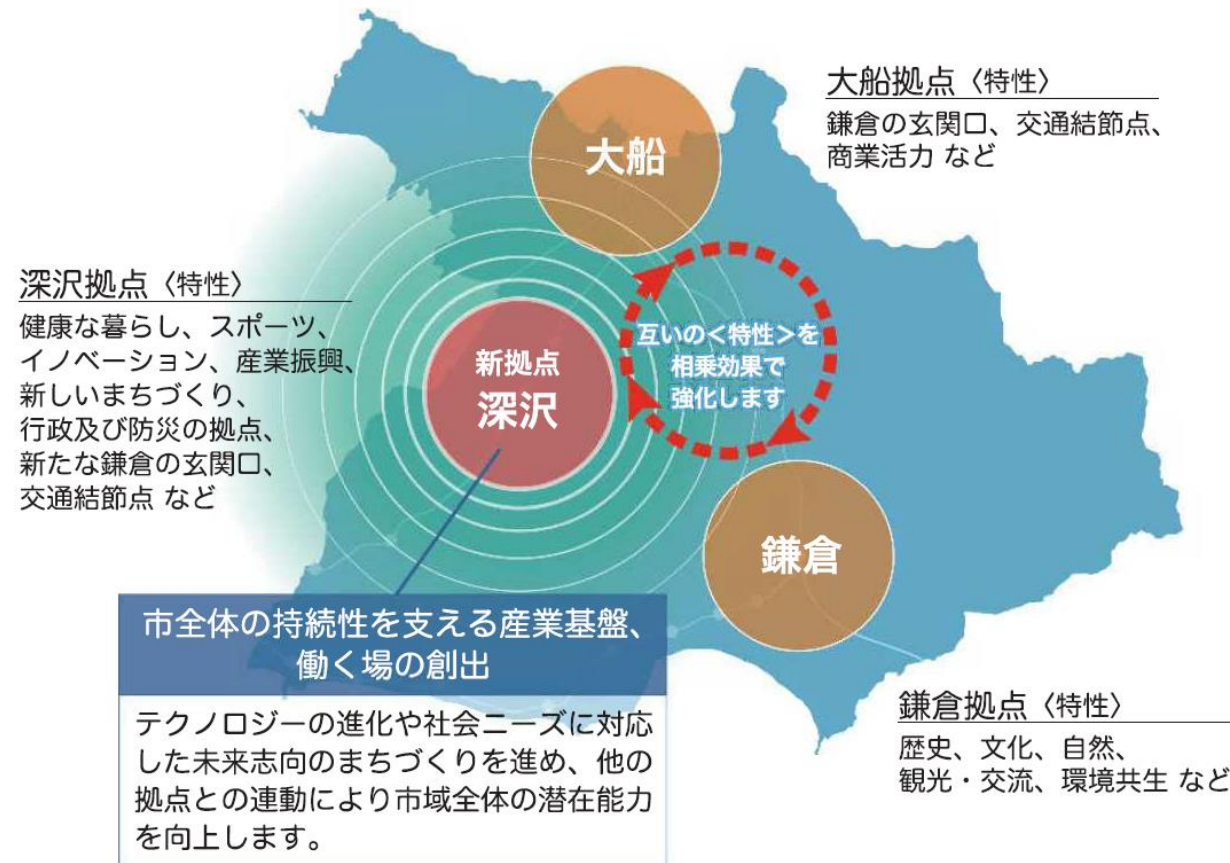


■ 鎌倉都市計画図

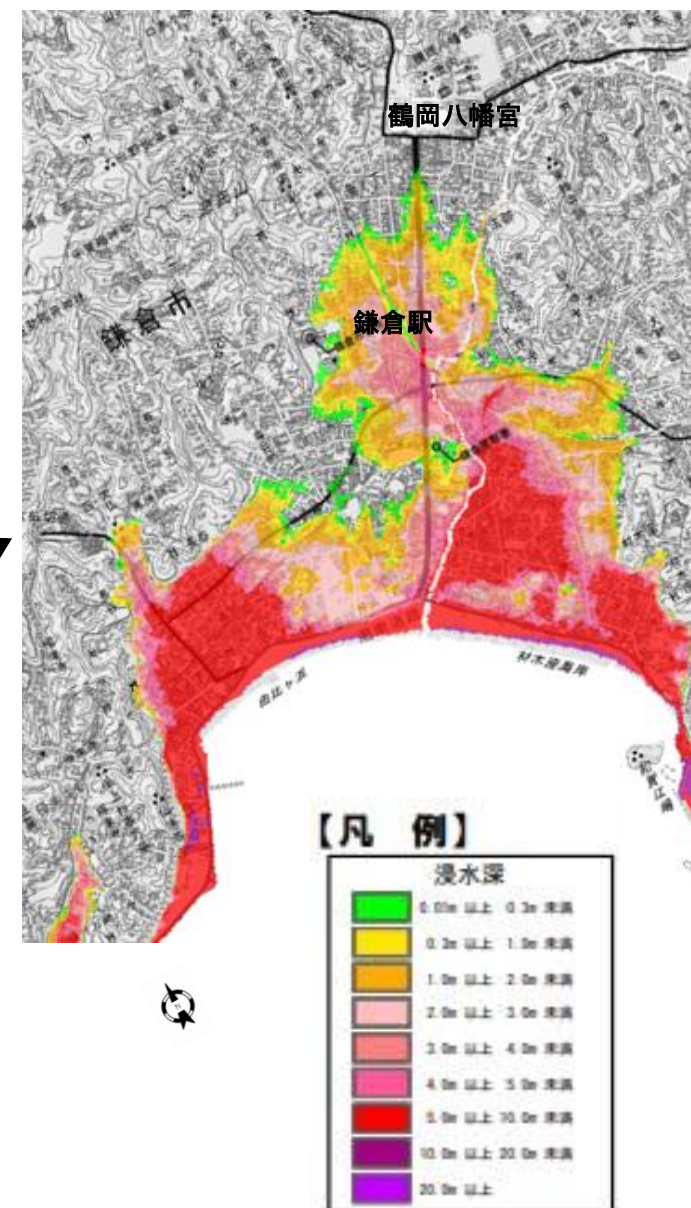
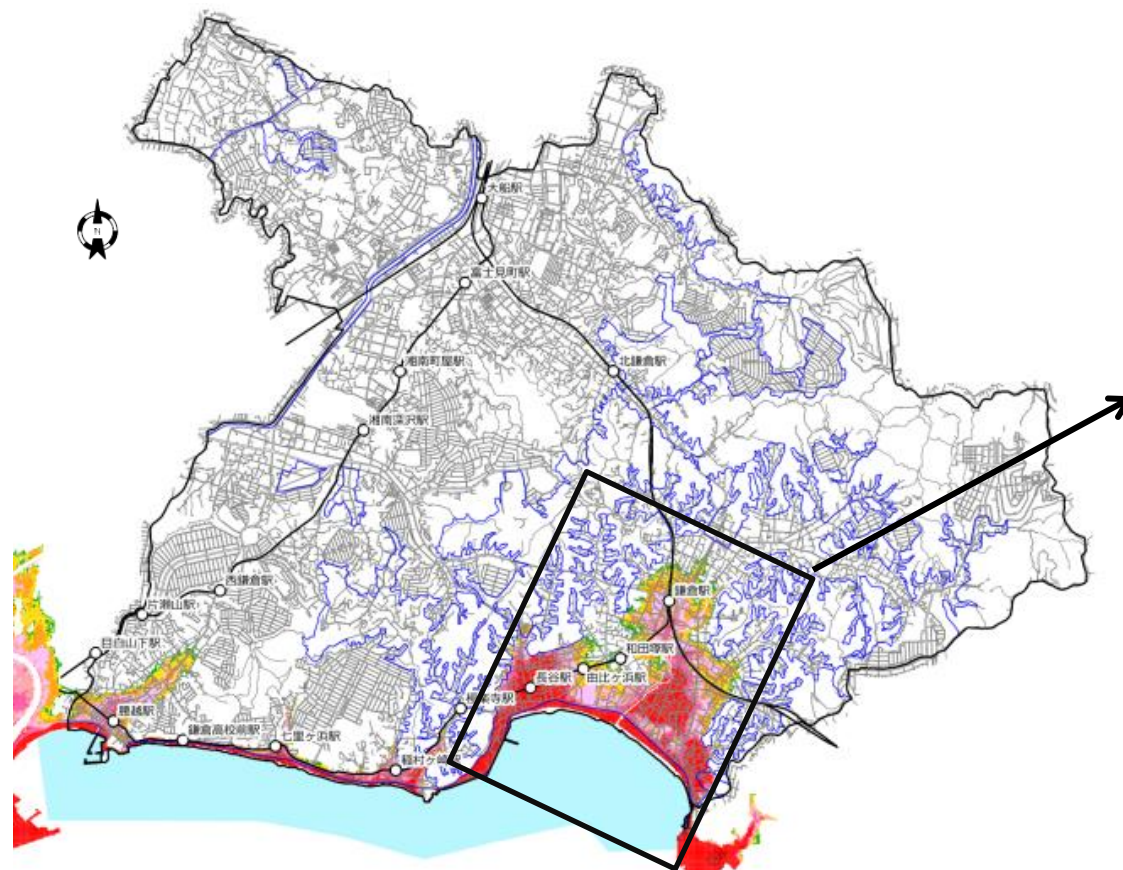
令和六年三月四日



- 鎌倉駅周辺は、鎌倉地域の中心市街地として、社寺等の歴史的遺産や公共公益施設が集積し、自然環境と歴史的遺産が融和した風格ある都市景観を形成している。
- 鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第3の拠点とする深沢拠点として、現在、まちづくりを進める深沢地域整備事業は、「Society5.0」や「スマートシティ」など国の戦略を受け、新たな時代を見据えた社会インフラや多様な機能の導入により、その実現を目指している。



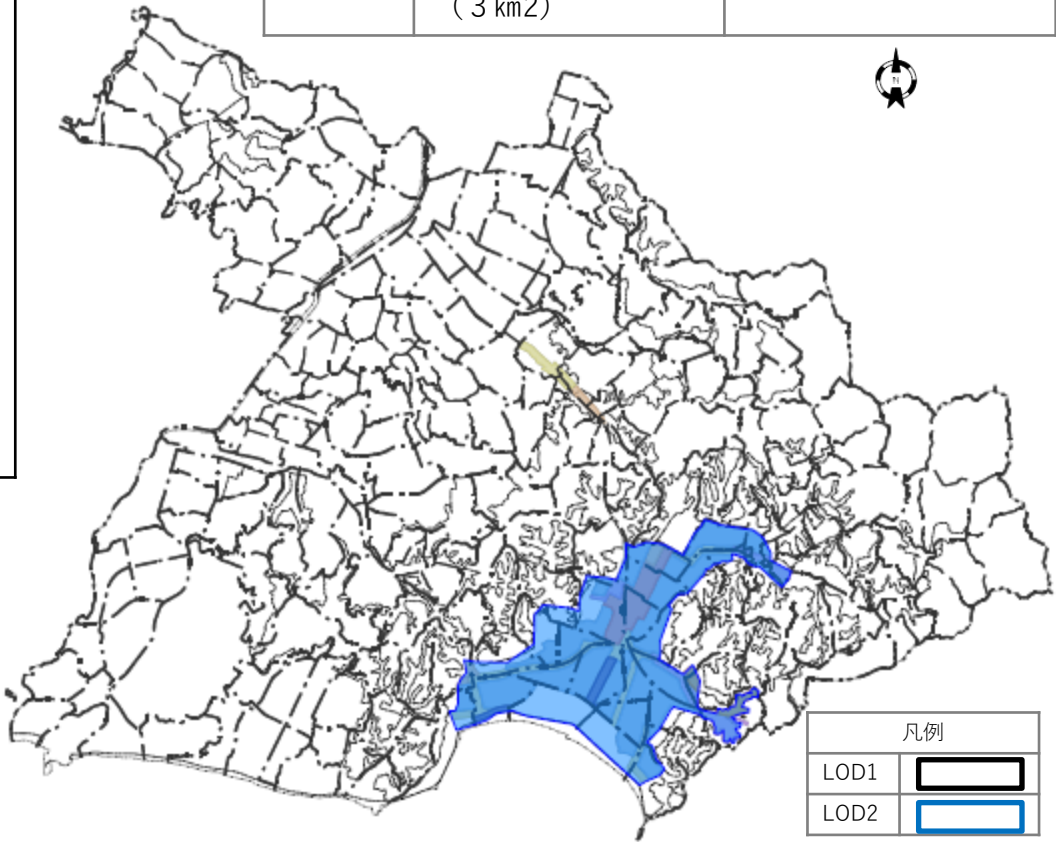
◆津波浸水想定区域



出典：神奈川県資料(2019年11月)

名称	3D都市モデルを活用した 都市マスタープラン改定事業
目的	自然・歴史的環境と調和を保ちつつ、頻発・激甚化する水災害等を踏まえた具体性のある都市マスタープランの改定、ひいては都市計画の見直し検討に向け、行政事務の効率化を図る。
概要	・3D都市モデルLOD1と土地利用現況図を重ね合わせ、土地利用の状況について解析を行う。この結果を踏まえ、都市マスタープランの改定に向けた検討資料とし、ひいては都市計画の見直し検討に活用する。 ・現在、鎌倉市が進めている、JR東海道本線新駅を伴う藤沢市域と一体の深沢地域のまちづくりの具現化の検討に活用する。 ・鎌倉市の特徴的な都市景観を踏まえた自然・歴史的環境と調和を保ったまち並みの形成等の土地利用の状況についてLOD2でモデリングし、解析を行う。 ・景観形成と都市防災の方針のバランスが難しいところであるため、災害リスク情報の三次元表示を行い、より具体性のある都市防災の方針等の検討につなげる。

整備範囲		
詳細度	整備範囲	整備地物
LOD1	市域＝都市計画区域 (39.67km ²)	建築物、道路、 都市計画決定情報、 土地利用、 災害リスク、 地形
LOD2	鎌倉景観地区・ 鎌倉風致地区の一部 (3 km ²)	建築物



3D都市モデル想定図



新たな都市拠点形成の具現化の検討



3D都市モデルを活用して創造したい価値／解決したい課題

- 自然・歴史的環境と調和を保ったまち並みの形成等の土地利用の状況についての解析
- 災害リスクを可視化し具体性のある都市防災の方針（具体的には鎌倉景観地区・鎌倉風致地区における建物高さの方針）の検討、分析
- 新たな都市拠点形成を図るための具現化の検討
- 社会情勢の変化に応じた都市マスタープラン改定に向けた検討、分析

■ 課題と今後の活用可能性について





